※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０７

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校　世界史探求』（第一学習社）						
副教材等	ワークシート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、主題に対して、自らそして他者とともに協調して考察する授業を行う。
・主題考察の過程で、自分の意見を発表したり、議論したりする活動を、史資料を基に行う。
・歴史的事項を単なる暗記としてとらえるのではなく、学習した知識を基に、比較考察することを心がけること。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	世界史へのまなざし	・地域環境から見る人類の歴史 ・日常生活から見る世界の歴史	a:人類の歴史と地球環境との関わり、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 b:主題を設定し、諸資料を読み解き、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性、身の回りの諸事情と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート
	諸地域の歴史的特質の形成	・諸地域の歴史的特質への問い ・古代文明の歴史的特質 ・諸地域の歴史的特質	a:古代文明、西アジアと地中海周辺の諸国家、南アジアと東南アジア・キリスト教とイスラームを基盤とした国家の歴史的特質を理解する。 b:主題を設定し、諸資料を読み解き、自然環境と生活や文化との関連性・農耕牧畜の意義や、各地域の社会や文化の特色を考察し、表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート
	諸地域の交流・再編	・諸地域の交流・再編への問い ・結びつくユーラシアと諸地域	a:西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会、宋とモンゴル帝国の拡大、アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動を理解する。 b:主題を設定し、諸資料を読み解き、諸地域へのイスラーム拡大の要因、ヨーロッパ社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容を考察し、表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート
2学期	諸地域の交流・再編	・アジア諸地域とヨーロッパの再編	a:西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向、宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を理解する。 b:主題を設定し、諸資料を読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会の変化や文化の特色、日本の対外関係の特徴、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色を考察し、表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート

※令和４年度以降入学生用

	諸地域の結合・変容	・諸地域の結合・変容への問い ・世界市場の形成と諸地域の結合	a:産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開、国民国家と近代民主主義社会の形成、国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革、世界市場の形成とアジア諸国の変容を理解する。 b : 主題を設定し、諸資料を読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容、労働力の移動を促す要因、イギリス覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴を考察し、表現する。 c : 諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート
３学期	諸地域の結合・変容	・帝国主義とナショナリズムの高揚 ・第二次世界大戦と諸地域の変容	a:第２次産業革命と帝国主義の抗争、アジア諸国の変革、世界分割の進展とナショナリズムの高まり、第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制とワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズム、世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ=ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立を理解する。 b : 主題を設定し、諸資料を読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因を考察し、表現する。 c : 諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート

※令和４年度以降入学生用

	地域世界の課題	・地域世界の課題への問い ・冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 ・国際秩序の変容とグローバル化 ・科学技術の高度化と知識基盤社会 ・地球世界の課題の探求	a:1950～60 年代にかけての冷戦の展開と第二次世界大戦後に独立した国々に残された課題、1970 年代以降の世界の政治・経済のあり方の変容、知識基盤社会の展開と課題、歴史的経緯を踏まえた地球世界の課題を理解する。 b : 主題を設定し、諸資料を読み解き、冷戦の展開とその特徴、第三世界台頭の背景やその影響、アメリカ合衆国の覇権の動揺の要因、資源ナショナリズムの動きと先進工業国における産業構造の転換と特徴、新興工業地域の経済成長と格差拡大の影響、冷戦終結後の国際情勢、現代の科学技術や文化の歴史的な特徴、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史を考察し、表現する。 c : 諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート	ワークシート・ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度